

1	会議名	令和2年 第13回教育委員会会議 会議録	
2	開催日時	令和2年12月24日(木) 午後2時30分～午後3時10分	
3	開催場所	2階 特別会議室	
4	出席委員	教育長 守山 敏晴 委員 西村 宏、廣田 登志子、村尾 利勝、竹田 千恵	
5	欠席委員	なし	
6	会議出席者	教育次長 : 三浦 成寿 由宇支所長 : 本田 薫 周東支所長 : 加藤 勝巳 錦支所長 : 下村 豊 美和支所長 : 亀弘 典久 教育政策課長 : 村上 さゆり 学校教育課長 : 林 孝志 学校教育課主幹 : 仁田 誠彦 青少年課長 教育センター所長兼務 : 福屋 憲道 文化財保護課長 徴古館長兼務 : 後 詳子 生涯学習課長 中央公民館長兼務 : 村重 加代子 中央図書館長 : 山本 圭子 科学センター館長 : 林 孝造	
7	会議従事職員	教育政策課 : 大黒屋 誠、村上 葵	
8	会議録署名委員	西村 宏、廣田 登志子	
9	議事日程		
	日程第1	会議録署名委員の指名について	
	日程第2	報告第16号	所管事項について
	日程第3	議案第34号	図書館機能の充実について
	会議の概要		
	教育長	<ul style="list-style-type: none"> ・ただいまから令和2年第13回岩国市教育委員会会議を開会します。はじめに、日程第1会議録署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、西村委員と廣田委員にお願いします。 ・本日の議題は、日程第2「報告第16号 所管事項について」、日程第3「議案第34号 図書館機能の充実について」、以上でございます。それでは、日程第2「報告第16号 所管事項について」を議題といたします。これについては、協議会形式で進めたいと思います。各担当部署から先に配布しております行事予定表について、補足または所管事項に関する懸案等がありましたら説明をお願いします。 	
	由宇支所長	<ul style="list-style-type: none"> ・11月11日に、チャレンジ道場「さつまいもほりとおやつ作り」があったのですが、料理教室がコロナの関係でできないということで、22日に「さつまいもほり」だけを実施いたしました。また1月の行事予定で6日のチャレンジ道場「新春かるた、しょうぎ、囲碁大会」というのを計画しておりましたが、3密対策で新春かるたと囲碁を中止しまして将棋のみの縮小開催としております。 	
	周東支所長	<ul style="list-style-type: none"> ・皆様のお手元に昨日の新聞のコピーをお配りしております。報告が1件 	

<p>美和支所長</p>	<p>あります。内容は、周東中学校3年生の山根小春さんが、内閣府主催の障害者週間ポスター中学生部門で最優秀賞の内閣総理大臣賞を受賞されたものです。本日、24日の16時30分より市長報告会があります。周東中学校では美術の先生の熱心な指導の下、山根さん以外の生徒もいろいろな絵のコンクールに応募され優秀な成績を収められています。</p>
<p>学校教育課長</p> <p>生涯学習課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本郷山村留学センターの留学生につきましては、先日全員地元へ帰省をしております。こちらへは1月5日を目途に戻ってくる予定になっております。 ・小学校の音楽祭は残念ながら中止しましたが、中学校の合唱祭につきましては何とか行うことができたので良かったと思います。 ・1月の行事予定について訂正をいたします。1月10日の成人式につきましては、5月2日に延期をいたしました。時間については今後詰めてまいります。 ・12月に予定しておりました「童謡や唱歌を歌って心とからだを元気に！」は、3月21日に延期をいたしました。
<p>教育長</p> <p>村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、御意見・御質問がありましたらお願いいたします。 ・生涯学習課について、「花いっぱいコンクール」の表彰がありましたよね。優秀賞については幟の贈呈がありましたよね。2、3日前に麻里布中学校に行って、市長賞をもらったという報告を受けましたが、見てみると玄関前に花を印刷した幟を立ててあって、素晴らしい取り組みだなと思いました。あれを見ると、子供たちも日々このようにやれば市長賞が貰えるんだというエネルギーをもらえたということを職員の方から聞きました。できれば2、3本を学校の玄関前辺りに置くと、自分たちが育てた花がこのような結果になったということで非常に喜ぶのではないかと思います。1本だけでは少し寂しかったので、今度は予算を取ってガンガン宣伝するようにしてください。本当に良い企画アイデアだと思います。
<p>生涯学習課長</p> <p>村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ベースカラーはオレンジで、麻里布中学校のジャージの色に合わせてあります。 ・そうですよね。 ・それと、GIGAスクール構想についてお聞きします。来年度から児童生徒一人一人にタブレットを渡してICT授業を中心に活用するということですが、学校現場を考えると、指導教員は60歳近い人から20代前半まで年齢層が違って来るわけです。ICTの受け取り方も非常に違って来るのではないかと思います。授業へのタブレット活用、ICTの活用については各教科の目的に応じた形での活用をしてほしいという具体的な案が文科省からも示されていますよね。子供一人一人については、例えばグラフを比較しながら自分なりのデータを基に考える力を持たせるとか、そういったデータ化を子供たちにさせる技能を教える。な

	<p>かなか一朝一夕にできるものではないと思います。そういった面で教員の指導技術の研修がしっかりと成されていなければできないのではないかという考えもあるわけですが、現状の研修だけではなかなか難しいのではないかと思います。今は実際にタブレットがまだ一台一台無いのですが、近々入ってくるということになれば、それを活用して授業改善や取扱い等に関しても指導していかなければならないということで、教育センターについては次長を中心に研修体制を敷いていく。学校教育課であれば担当指導主事が指導する。そのような指導体制についてどうお考えでしょうか。</p>
<p>学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットにつきましては、岩国市教育委員会に全て届きまして、これからキッティング作業で中にソフトを入れたりカバーを貼ったりという作業を行います。3月末までには全小中学校に配布できる予定となっております。ただ、実際に配布して、今話があったように教職員の技術をどうしていくかということで、別に研修をしていかなければいけないので、現在は担当指導主事や推進リーダー2人、それから教育センター次長等でプロジェクトチームを作って、研修の在り方について協議をしているところです。昨日は本郷小中学校で行いましたが、色んな学校に行きながらICTの活用の仕方についてこちらから発信しております。今後こういった授業を進めていく中で岩国市教育委員会の中に「情報教育推進室」という、特化したものを設置しまして、研修やタブレットの修理、活用の方法、また持ち帰り等について推進していく室が必要だということで、今教育委員会の中で話し合いを持っているところです。
<p>村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今の話を聞いて、4年前に和木町で教育委員の研修をやったときに、タブレット端末を活用した授業の在り方について和木小学校で授業研究をされていました。和木町は小中1校ずつですから、そのくらいの規模であれば、教育委員会できめ細かなものが達成できると思うのですが、岩国市には小中学校が46校あって、それが普遍的に一人一人の先生方が子供たちに間違いなく指導できるという体制を確実に整えておかなければ、費用対効果の問題から言っても「ここの学校はできるがここの学校はできない」ということではダメな構想であろうと思います。問題は、各学校にいらっしゃる推進リーダーの中にパソコンができる方が何人いるかということです。主に推進リーダーは先生方の授業力向上のためについているのですか。
<p>学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今いる推進リーダーは各学校に1名ずつと教頭になります。それに加えて今考えているのは、ICTサポーターというのを来年度4名加えまして各学校を回っていただきます。また青少年課・教育センターにも2名いますので、これも合わせて支援に回りながら、研修や子供のスキルアップを目指した活用を考えているところです。
<p>村尾委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今言われたように、4名のバックアップがまた来年度追加されるという

<p>学校教育課長</p>	<p>ことで力強い言葉を頂きましたが、加えて各学校にICTを得意分野とする先生方がいらっしゃると思うのでそれをリストアップして、とにかくその先生方を中心に校内体制を構築するというのを教育委員会主導でやっていただいて、満遍なくどこの学校も漏れがないように指導することが大切だと思います。そのような体制づくりもぜひ早めにやっていただいて、GIGAスクール体制については絶対に岩国市は後れをとらないという体制をとっていただきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校には情報教育担当者がいますので、もちろんスキルが高い人もまだまだまだな人もいますが、それを含めてまずは研修等で担当者が使えるようになる、それから各学校で研修を行いながら全員の先生が使えるような体制を作っていきたいと考えております。
<p>村尾委員 学校教育課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張ってください。 ・はい。
<p>廣田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育センターにお聞きします。いじめ防止対策推進法ができて、それぞれの調査をととても綿密に把握されて、また学校とも連携を取りながら訪問して解決しておられることに頭が下がる思いです。また冬季休業——年末年始の休業を迎えますけれども、そのいじめの中で携帯やパソコンのネット関係のいじめというのは調査の数字として挙がってますでしょうか。どれくらいありますか。
<p>青少年課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今手元には無いのですが、調査はあります。具体的な数はおそらく全体で10件未満であったと思います。数自体はそんなに多くはないのですが、例えば昨年度のいじめの総数が、学校が認知した数が264件あります。そのうち10件程度がICTやSNSを通じてのものであります。ただそれは氷山の一角であろうかと思っております。見えにくい、発見しにくい、訴えがなければ学校はどうしても把握しにくいところがあるので、ICTやSNSの使い方の研修を各学校に求めていきたいです。
<p>廣田委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ関係で大人の世界でもSNSを通じた業務妨害と言えるような酷い中傷がありますので——子供たちも何らかの形でそのような波に巻き込まれているとしたら、今おっしゃったように難しいので表面に出にくいのですが、表出することは決して悪いことでも特別なことでもないという雰囲気を作っていくことが大事だと思っておりますので、引き続きどうぞよろしく願いいたします。とてもこまめに対応しておられます。 ・もう一点、先日周東文化協会が発行された「傳承」を頂き、読ませていただきました。とても素晴らしい内容で、あとがきのところにも書いてありますけれども、一人のあるいは聡明な現地住民が執筆するというのではなく、一般に投げかけて、広く町内全域から老若男女を問わず「個人投稿」が51名、それから「詠む」36名の計87名、それから「語る」参加者が39名という、一般の方から広く投稿を呼び掛けてこのように

	<p>編集しておられます。中も見やすいように挿絵や素敵な切り絵が散りばめられて、とても読みやすい構成になっております。何年かに1回の編集という意味もあるでしょうが、別の見方をすれば今コロナの時代になかなか一か所に集まって文芸愛好家が朗読会をやるのが難しい時代なので、このように一つの冊子にして読みやすい形で読んでもらうという方法もこれからはありかなと。新しい道を見つけたような気がして良い思いになりました。どうぞ編集委員をはじめ、皆さんによろしくお伝えください。</p>
周東支所長	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えておきます。
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・科学センターの資料を今拝見しましたが、「科学センター月報」はいつからカラー化されたのでしょうか。
科学センター長	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度からです。
西村委員	<ul style="list-style-type: none"> ・やはり写真が昔に比べて見やすいです。それと、「科学センター集録」は令和元年度版ならもう2、3か月早く出しても良いのではないかと思います。もう2年度が終わりますから。仕事の難しいのかもしれませんが、できたらもう少し早めにしていただけたらと思います。それと、集録の最後に月報を参考資料に入れても良いのではないかと思います、月報は毎月別々に頂いていますが、せつかくセンター集録を1年に1回出すのですから、予算があれば最後に1年分を入れておけば、1冊あれば資料として役に立つと思います。次年度はそういうことも検討していただければ、集録の内容が豊富になると思います。
竹田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどSNSのいじめの話が出ていましたが、今はコロナのせいで外で遊べないので、小学生の間でNintendo Switchのボイスチャットで「何時に集合」になっても、ゲーム機を持っていない子は参加できず仲間外れになるんです。他にも中学生になったらLINEのグループが作られ、スマホを持っていないければ仲間外れに。そういうのは学校側が、この子は自分のスマホを持っているなどというのは把握されていないのですか。やはり難しいですか。
青少年課長	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね、どの子が持っていてどの子が持っていないというところまでは把握できていないと思います。家庭環境にもよるので、それを調べるのが是か非かという部分もあり、個人情報にも極めて近いのでなかなか調べにくいと思います。
竹田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ツイッターやインスタグラムとかでも仲間外れになる話をよく聞きますので、難しいとは思いますが、目を配っていただきたいと思います。
青少年課長	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほど廣田委員に10件未満とお伝えしましたが、昨年度のSNSのトラブルは13件ありました。やはり今年度になってSNSによるトラブルは確実に増えているというのは委員の御指摘のとおり感じているところです。やはりなかなか見えにくく重症化してしまったり、画像が出てしまったりするのは本人には非常にショックになったりするので、そ

<p>西村委員</p>	<p>こは生徒指導主任会や教育相談員会等を通じて初期対応や未然防止に向けてこれからも継続していきたいと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今のと関連して、学校側は生徒がスマホを持っているかどうかを今は確認できないということでしたが、親御さんに申告してもらおうというのも個人情報になり全くできないのですか。
<p>青少年課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような形で必要かという目的によります。理解していただいて、学校運営協議会やPTAと話をした上で、そういったことがなぜ情報として必要なのか、その情報をどうするのかを地域ごとや学校の中できちんと把握した上でされるべきことなのかなと思っています。ただ実態を知erことはすごく大事だと思います。
<p>西村委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何か事件が起こってからその子たちがスマホを持っているかどうかを調査するということになりますか。
<p>青少年課長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。それと、子供たちも親のスマホを使ったり、タブレットなど家族のものを使ったり、ゲーム機でも使える部分があるので、個人持ちだからSNSに関わらないということではなく、学校としては、ネット環境があればSNSの中に子供が身を投じるという認識を持つことの方がむしろ大事なのかなと思っています。
<p>西村委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ですがスマホを持っているかどうかということくらいは子供の置かれている環境を知る上で、親御さんに問いかけるというのはそんなに個人情報に抵触しないかもしれませんね。情報として、子供たちがスマホを持っているかを知っていてもおかしくはないです。
<p>青少年課長 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・そうですね。 ・別にないようでしたら、以上で報告第16号を終わります。 ・次に、日程第3「議案第34号 図書館機能の充実について」を議題といたします。なお、これ以降の日程については、公表までの間、議事については非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。
<p>各委員 教育長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なし ・御異議なしと認め、日程第3以降は非公開といたします。 ・それでは非公開として議事を進めてまいりますので、関係者以外の方は退出をお願いします。
	<p><傍聴人退席></p>
<p>教育長 中央図書館長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・それでは、中央図書館から説明をお願いします。 ・「図書館機能の充実について」御説明します。現在、福祉会館内に設置しています中央図書館麻里布分室を、「岩国駅前南地区市街地再開発事業」の再開発ビル内に移転整備することについて、教育委員会の御承認を求めるものです。 ・耐震性が無く老朽化が進んでいる福祉会館内にある中央図書館麻里布分

室を、現在、民間の準備組合によって進められている「岩国駅前南地区市街地再開発事業」の再開発ビル内へ移転整備し、図書館機能の充実を図るため、提案するものです。

- ・検討候補地の選定についてですが、まず、現在図書館が設置されている福祉会館は耐震性が無く、老朽化も進んでいる中、入居する他の施設も含め、現在今後の方針が検討されている状況であり、今後、図書館のみでの維持管理は難しいことから、福祉会館での事業継続は不確定となっています。こうしたことから、建て替え等の方針が出ていないため候補から除外します。次に、従来から、市有地並びに民有地、民有施設において候補地を探しておりました。岩国YMCA、フジグラン岩国、前の山口銀行岩国支店が挙がり、調査・検討を行っておりましたところ、「岩国駅前南地区の再開発ビルについて岩国駅前の賑わいの創出に資する新たな施設の整備を市が早急に検討していく」旨を知り、この再開発ビルについても追加し比較検討を行いました。
- ・比較検討の状況ですが、別紙A3横の資料をごらんください。上半分に、各候補地・施設等の敷地条件等の整理をしております。既存建物の建築年・延べ床面積・構造や、岩国駅からの距離などを記載しております。下半分は、比較考察を行った結果を記述しております。まず候補地については、一般的な徒歩圏として定義されている800m圏内に設定し、「施設規模と配置」や「施設計画」により検討を行いました。ちなみに、現分室は、岩国駅から624m、徒歩9分の場所にあります。続いて、岩国駅やバスの利用者や商業施設等の利用増を見込むため、「アクセス性」「集客性」「歩行者からの視認性」などの項目を、またコスト削減も大きく影響するため「整備費等」、そして施設の構造が図書館として適当か「建築基準法に照らした積載荷重構造」により比較検討を行い、図書館機能への対応及び交流や情報提供を目的とした当該施設の性格を踏まえ考察を行った結果、候補地1の再開発ビルが最適地となりました。以上のことから、現中央図書館麻里布分室の再開発ビルへの移転について、教育委員会にお諮りしたいと思います。御審議の程、よろしく願いします。

教育長

- ・ただいまの説明に、御質問・御意見がありましたらお願いします。

西村委員

- ・このビルのどこかのフロアを借りるということですか。

中央図書館長

- ・県の東部産業振興センターが入る予定でありましたフロアがあるのですが、そちらが空くということで、そのどこかに入れていただければと。

西村委員

- ・1フロアですか。

教育次長

- ・1フロアです。

西村委員

- ・場所はすごく良いと思います。本当はもっと岩国駅に近くてもよかったのですが、「駅」というわけにもいかないのです。

廣田委員

- ・この場所はこれまでも検討していたということですよ。

教育次長	・はい。
西村委員	・県の東部産業振興センターが入らなくなって急遽入れるようになった、諦めていたところに入れるようになったということですよ。
村尾委員	・一昨日のテレビでもやっていましたよね。
教育次長	・要望が各団体から出ていますので、それをもって新聞やテレビで取り上げておられます。
村尾委員	・テレビでは具体的に言っていました。開発ビルの中に図書館を入れるという話を。
教育次長	・要望の内容の中に図書館機能を入れるという話ですが、市としてはまだ出していません。
西村委員	・これは20階建てのビルなんですか。22階と新聞に書いてありましたが。
教育次長	・そのあたりが詳しくはまだ。民間の事業なので。
西村委員	・もう決まってはいるのですか。
教育次長	・決まっているはずですよ。
西村委員	・かなり高いビルですよ。
村尾委員	・広さ的には今ある福祉センターの中に入っている大きさくらいなのですか。
教育次長	・産業振興センターが入ろうとしていたところは3,000㎡くらいあり、麻里布が158㎡です。その3,000㎡を全部貰うわけではないですが、そこに入れてもらおうということで、広さはまだ確定されていません。
村尾委員	・公益施設の対象面積は3,000㎡と書いていますが、その一部を借りるということですか。
教育次長	・まだそこも、全部になるのか一部になるのか具体的には分かりませんが、図書館の機能をそこに持っていかせてほしいということで市の内部で調整を図っています。
村尾委員	・全部だと20倍になります。相当広いですね。
教育次長	・団体からの要望も、駅前の賑わいづくりですので、図書館だけで賑わいができるというのは考えにくいので、色々な賑わいができる施設を集めて、その中に図書館も入っていくというイメージでおります。
村尾委員	・複合施設的なもので対応するということですか。
教育次長	・はい。
西村委員	・なら広いほうがいいですよ、あんまり狭いよりは。
村尾委員	・これは場所的にも良いのではないのでしょうか。
教育長	・別にないようでしたら、議案第34号は原案のとおり決することに御異議ありませんか。
各委員	・異議なし。
教育長	・御異議なしと認め、議案第34号は原案のとおり決します。
	・本日の議題は以上でございます。それでは、次回の教育委員会会議の日程について、事務局からお願いします。

教育政策課長	・ 次回の定例会は令和 3 年 1 月 15 日金曜日、市役所本庁 2 階特別会議室にて 9 時 30 分から教育委員会会議を開催いたします。所属長会議は行いません。
教育長	・ これをもちまして、令和 2 年第 13 回岩国市教育委員会会議を終了します。

岩国市教育委員会会議規則第 16 条の規定により署名する。

教育長 守山 敏晴

教育委員 西村 宏

教育委員 廣田 登志子